高等学校段階の病気療養中等の生徒に対する遠隔教育の要件も緩和へ

○病気療養中等の生徒の教育機会を確保する観点から、上限（74単位のうち、36単位）を超える単位取得等を認める
○受信側の病室等に当該高等学校等の教員を配置することは必ずしも要しない

参考：令和2年4月　学校教育法施行規則改正
小・中学校等における病気療養児に対する同時双方向型授業配信を行った場合の指導要録上の出欠の取扱い等について（通知）
平成30年9月20日　文部科学省初等中等教育局長通知

福井東特別支援学校における遠隔教育

小中学部

○チャット機能を使った体調や生活の把握と予定の調整
○生徒の自宅と学校をつないだ遠隔授業
→学校生活に見通しをもてることで登校につながりました。
○遠隔による職場体験
→初めての環境への不安があり、職場には行けませんでしたが、学校で同じ作業を体験することができました。
○治療のため転入した生徒の前籍校と本校をつないだ遠隔授業
→前籍校の友達と交流ができることを励みに、本校でも学習や活動に意欲的に取り組んでいます。

中学部職場体験
事業所の協力を得て学校で同じ作業をしました

高等部

○チャット機能を使った体調や生活の把握と予定の調整
→活動内容だけでなく参加の形態を知らせ、自分で選べるようにしています。健康観察では、体調面で心配なことの聞き取りもおこなっています。
○生徒の自宅や校内の別室と授業を行っている教室をつないだ遠隔授業
→家庭から参加するだけでなく、集団が苦手な生徒が別教室でなら参加できそうな場合に、教材やプリントをもらって授業を受けています。
→登校が難しい時期に授業時間に限らず遠隔でつなぐことで、心理的安定がはかられ、その後安定した登校につながった事例もあります。

高等部昼休みの風景
遠隔を使ってカードゲームを楽しんでいます

五領分教室（福井大学医学部附属病院）

○退院前に退院カンファレンス（全員実施）
→前籍校からは管理職、学年主任、養護教諭、担任が出席し、入院が長くなる生徒については、中間カンファレンスも今年度から行うようになりました。経過報告や前籍校に戻った時の配慮事項、注意事項などを検討しています。
○前籍校との交流
→帰りの会、お楽しみ会、お誕生日会、終業式の全校集会、学年集会、学級活動、授業などに参加することで、クラスの友達とおしゃべりができ、笑顔も見られ、「良かった」という感想をもっている児童生徒も多くいます。

前籍校とのつながりは子どもたちの励みになり、辛い治療を乗り越える力となります

お問い合わせ先

コロナの感染状況に応じてオンラインでの教育相談も対応しています。

福井県立福井東特別支援学校
教育支援部
TEL 0776-53-6575
受付時間　月～金　9:00～17:00